



2026 年 10 月 13 日

各 位

会 社 名 スターシーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 雅順
(東証スタンダード・コード:3083)
問合せ先 管理本部長 竹谷 治郎
(TEL.03-6721-5891)

連結子会社におけるサーバー関連商品の仕入及びリースに関するお知らせ

当社は、2026 年 10 月 12 日付けの取締役会決議により、当社の連結子会社であるスターシーズデジタル株式会社（代表取締役 大沢晶。以下、「SSD 社」といいます。）が、データセンター用 AI サーバーの仕入及びリース（以下、「本件取引」といいます。）を行うことを承認いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本件取引は、SSD 社にとって初めてのリース取引となります。

記

1. 本件取引について

当社は、2025 年 9 月 5 日付け「子会社設立及び新たな事業の開始に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、AI・機械学習・データ解析等の分野において高性能な計算環境を提供するサーバーの販売事業を行う SSD 社を設立しております。

また、SSD 社は、直近では 2026 年 10 月 8 日付け「連結子会社におけるサーバー関連商品の仕入及び販売に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、これまでサーバー関連商品の仕入及び販売を行ってまいりました。このたび、日本企業をリース先として、データセンター用 AI サーバー 32 台を仕入れ、24 か月間リースする本件取引を決定いたしました。

本件取引は、SSD 社にとって初めてのリース取引であり、従来の販売に加え、リースを新たな取引形態として加えるものです。本件取引における「リース」とは、契約上の法的形式であり、リース期間満了かつ全額支払を条件として機器の所有権がリース先へ無償で移転する、賃貸借の形式をとった契約をいいます。リース料は機器の納入前に全額を受領するため、SSD 社からリース先への与信は生じず、金融機能を伴う取引ではありません。SSD 社は、販売とリースの両面から、顧客の設備導入に係る社内手続や資産管理のニーズに応じた取引形態を提供し、拡大する AI インフラ需要の取り込みを図ってまいります。

（1）本件取引の概要

商品	データセンター用 AI サーバー（GPU サーバー）32 台
取引形態	リース（リース期間 24 か月。期間満了かつ全額支払を条件として

	所有権をリース先へ無償で移転。代金は機器の納入前に全額受領)
決済方法	現金（銀行振込）

取引先のご意向により、取引金額の内訳の詳細については公表を控えさせていただきますが、本件取引の取引金額総額は概算で1,833万米ドル（約29億円）であり、当社の前連結会計年度における連結売上高の10%以上に相当する見込みです。なお、本件取引は、契約上はリースの形式をとっておりますが、代金を機器の納入前に全額受領すること、リース先が機器を占有・使用すること及びSSD社が機器を任意に担保設定・処分できないことから、取引の実態に即して、リース会計基準に基づくリース取引としてではなく、販売取引として会計処理し、SSD社は機器の検収時に売上高を計上する予定です。

（２）仕入先の概要

①	名 称	取引先のご意向により非公開
②	所 在 地	シンガポール共和国
③	事 業 内 容	コンピューター、サーバー、マザーボード、その他関連電子機器の研究開発・設計・販売

（３）リース先の概要

①	名 称	取引先のご意向により非公開
②	所 在 地	東京都
③	事 業 内 容	クラウドサービス業、インターネット接続サービス業及びインターネットデータセンターサービス業
④	上場会社と当該会社との間の関係	
	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。

２．連結業績への影響及び今後の見通し

本件取引による売上高は2027年2月期に計上する見込みであり、当社連結業績に与える影響につきましては、2026年9月8日付け「2027年2月期通期連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」にて発表した2027年2月期の連結業績予想に反映しており、変更はございません。

なお、機器の納入及び検収の時期によっては、売上高の計上が2028年2月期となる可能性があります。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上